

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」
平成 29 年度 理事会および通常総会

1. 日 時 平成 30 年 3 月 14 日 (水曜日)
- 理事会 午前 9 時
総 会 午前 10 時
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 議案審議
- (1) 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告および決算報告の件
① 平成 29 年度 事業報告
② 平成 29 年度 決算報告
- (2) 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画および活動予算の件
① 平成 30 年度 事業計画(案)
② 平成 30 年度 活動予算(案)
- (3) 第 3 号議案 定款変更の件
- (4) その他 理事および監事の役職等の変更について 他



市村自然塾 九州

平成 29 年度 事業報告書

【3月開塾までの経緯】

非営利活動法人「市村自然塾 九州」(以下、当法人)は、株式会社リコーを中心とするリコー三愛グループの創始者である市村清氏の生誕 100 周年を記念して、平成 14 年 1 月に設立し、平成 15 年 3 月から塾運営を開始しました。コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社および株式会社リコーのグループ企業・団体ならびに関係自治体や地元企業からのご支援をいただき運営しています。

平成 29 年度については、子供達の健全育成活動(以下「自然塾活動」)を行うため、3 月 5 日の入塾式および 3 月 17 日からの第1ステージに向けての準備から開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」については、平成 22 年 10 月の改修工事に引き続き、平成 29 年 2 月に 2 回目となる改修工事を行いました。本「塾舎」は平成 14 年 9 月完成当時から当法人の主要支援先であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様から無償でお借りしており、塾舎のある用地については平成 14 年 9 月から鳥栖市様より無償でお借りしております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地 5 ヶ所(約 4,000 m²)を水田と畑として活用し、継続して米や野菜の農作物をつくってまいりました。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤 10 名(うち企業からの派遣 4 名)、非常勤 2 名を確保し、カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 平成 29 年度の塾生募集については、平成 28 年 10 月より新聞・鳥栖市報等で取り上げていただくと共に、福岡、佐賀県内の教育委員会を通じて募集を依頼し、男子 34 名、女子 44 名の合計 78 名の応募がありました。

平成 29 年度の塾生については、平成 28 年 12 月 23 日～24 日に塾舎にて本人および保護者と面談を行い、本人の意思確認を経て男女 60 名の入塾を決定しました。

・応募数 78 名 (男子 34 名、女子 44 名) (福岡県 37 名、佐賀県 40 名、熊本 1 名)

・入塾生 男子 30 名 (小学生 28 名、中学生 2 名) (福岡県 12 名、佐賀県 18 名)

女子 30 名 (小学生 28 名、中学生 2 名) (福岡県 15 名、佐賀県 14 名、熊本 1 名)

5. 運営資金については、法人・個人の正会員・賛助会員のご協力による会費 3,517 千円およびコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様などからの寄付金 49,891 千円に、雑収入 34 千円を合わせた合計 53,442 千円を運営資金といたしました。

【内訳】

(1) 会費	①正会員(法人・個人)	3,459,000 円
	②賛助会員(法人・個人)	58,000 円
	計	<u>3,517,000 円</u>
(2) 寄付金	①コカ・コーラウエスト株式会社 様	34,700,000 円
	②コカ・コーラウエスト株主優待口 様	9,691,200 円
	③コカ・コーラウエスト山陽基金 様	3,000,000 円
	④財団法人 新技術開発財団 様	2,500,000 円
	計	<u>49,891,200 円</u>
(3) 雑収入	計	<u>34,636 円</u>

【自然塾活動の概況】

1. 全体概要

平成 29 年 3 月 5 日に入塾式を実施し、男子 30 名、女子 30 名、合計 60 名の塾生を迎え入れました。

3 月 17 日にスタートした第 1 ステージからは、「進んで挨拶をする」、「時間を守る」など、共同生活に必要な基本的なルールを体得させ、12 月 10 日の卒塾式まで、男女それぞれ 18 ステージ(延べ 110 日間)の自然塾活動を行いました。ただし、男子の第 9 ステージに豪雨、また女子の第 13 ステージには台風接近により、活動を 1 日中止としました。

そのなかで、18 ステージの全てのプログラムに参加した「完全皆勤」を達成した塾生は、男子 4 名・女子 11 名、また、各ステージ 3 分の 2 以上参加した「ステージ皆勤」は、男子 17 名・女子 9 名でした。

クラブ活動や習い事などが増加しているなかで、塾生が自然塾の活動を「楽しいもの」と感じるだけでなく、「意義あるもの」ととらえている結果であろうと考えています。

2. 農業体験活動

農業体験活動では、塾生がチームメンバーと協力しながら約 40 種類の農作物を自らの手で育て、活動中の食材としても活用することができました。

農作物は、病害虫に多少の被害を受けましたが、「困難なことに立ち向かってやり通すこと」、「生き物への興味・関心を持つこと」を体得し、季節の変化に応じた様々な農作業の体験となりました。

3. 自然体験活動

自然体験活動では、椎茸の菌打ちやヤマメの放流、ホテルの観察や天体観測、田んぼでの泥んこ運動会、リバートレッキング、九千部山登山、日の出拝観などを実施し、自然の仕組みを理解させ、花や風景など美しいものを見て感動できる感性を育てました。

特に 5 月下旬の田植え前に実施する「泥んこ運動会」では、騎馬戦や棒引きなど白熱した内容で、チームの結束力をより一層高める機会となりました。

4. 共同生活

共同生活活動では、2 泊 3 日の宿泊を伴う男女それぞれ 18 回経験するため、身の回りの整理整頓や共同場所の清掃、農作業道具の準備と片付け、羽釜による直火炊きの炊飯、テントの設営、といった日常で経験しないことを数多く体験させました。

その他にも、河内地区の清掃ボランティア活動、味噌づくり、万歳寺での座禅体験を実施しました。

これらの活動を通じて、塾生は割り当てられた仕事を最後までやり通し、できるようになるまで努力し、仲間と協力して成し遂げて得られる達成感を体験することができました。

5. 安全対策

安全対策については、自然塾がある鳥栖市河内地区は市内の中心地から 10km ほど離れており、救急車の到着には最短でも 15 分ほどかかることから、自然塾活動がスタートする 2 月にスタッフ全員が救急救命講習を受講し、AED(自動対外式除細動器)を使用した救急救命が施せるスキルを習得しました。

また、鳥栖市にある医療法人清明会「やよいがおか鹿毛病院」から看護師を派遣してもらい、ステージ中の塾生の体調管理や応急処置を行い、緊急時の対応も病院と連携して実施しました。

6. 保護者からの意見

夏休みに行った親子大会では、保護者との意見交換を行い、関係強化・信頼関係構築に努めました。

その際、保護者からの意見・コメントは以下のとおりです。

- ・「子どもの様子をよく見て、指導していただいていると感じる」
- ・「積極的に自分で考え、行動できるようになった」
- ・「自分の言葉で自己主張ができるようになった」
- ・「自信をもって行動できるようになった」

- ・「学校でリーダーシップがとれるようになり評価された」
 - ・「大勢の中でのコミュニケーションがうまくできるようになった」
 - ・「家事を手伝うようになった」
 - ・「食事を残さないようになった」
 - ・「体力、忍耐力が付き、弱音をはかなくなった」
- 等々の意見が寄せられました。

さらに、卒塾式の際に、

- ・「子どもの成長を改めて感じる」
- ・「子どもの悪いところをしっかりと受けとめ、叱ったり、褒めたりして育てていただいたことに感謝する。」
- ・「弟や妹、友人、近隣の人にも是非参加を呼びかけたい」との言葉を寄せる保護者もいました。

なお、平成 29 年度の事業活動は以下に記します。

【事業の実施概況】

実施計画	日程	実施内容																			
(1)農業体験活動	男子 3月17日～ 11月19日	参加者の内訳 ●学年構成	主な農業体験活動 ◆畑の土作り ◆畝立て ◆播種・苗の定植 ◆芽欠き・間引き ◆追肥・土寄せ ◆水やり・除草 ◆支柱立て・誘引 ◆鳥獣対策 ◆収穫 ◆米作り 種籾の塩水選・温湯消毒・播種・ 代かき・田植え・除草・稲刈・脱穀 ◆夏・秋野菜約 40 数種類栽培 (さつまいも、玉ねぎ、トマト、きゅうり、な す、かぼちゃ、ねぎ、ジャガイモ、里 芋、おくら等) ◆チーム農園 前作、後作の作付け計画 土作り、畝立て、播種・定植、収穫 (各チーム 約 20 種類)																		
	女子 3月24日～ 11月26日	●地域構成																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>小学4年</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	学 年	男子	女子	中学生	2	2	小学6年	9	10	小学5年	13	13	小学4年	6	5	計	30	30	
学 年	男子	女子																			
中学生	2	2																			
小学6年	9	10																			
小学5年	13	13																			
小学4年	6	5																			
計	30	30																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福岡県</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>佐賀県</td> <td>18</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>熊本県</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	学 年	男子	女子	福岡県	12	15	佐賀県	18	14	熊本県	0	1	計	30	30				
学 年	男子	女子																			
福岡県	12	15																			
佐賀県	18	14																			
熊本県	0	1																			
計	30	30																			

実施計画	日程	実施内容
(2)自然体験活動	男子 3月17日～ 11月19日 女子 3月24日～ 11月26日	活動状況 ◆地域探索 ◆ヤマメの放流(女子) ◆星座の観察 ◆蛍の観察 ◆田植え前の代かきを兼ねた泥んこ運動会 ◆大山祇神社から萬歳寺までの肝試し ◆塾野菜料理会 ◆萬歳寺での座禅会 ◆味噌作り ◆親子共同農業体験(男子・女子)でのテント宿泊、農作業 ◆九千部登山 ◆早朝日の出拝観登山 ◆清掃ボランティア活動 (コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森入口周辺の清掃、萬歳寺清掃) ◆地域との交流(紅葉ライトアップ点灯式合唱(男子))
(3)宿泊を伴う共同生活 (2泊3日)	男子 3月17日～ 11月19日 女子 3月24日～ 11月26日	「自主・自立・自律」を目標に ◆共同生活上の留意事項提示、実行 ・挨拶 ・掃除の仕方 ・食事のとり方 ・箸の使い方 ・寝具の使い方 ・洗面、入浴の仕方 ・姿勢 ◆寝食を共にする共同生活を実施 ・配膳、あとかたづけ、清掃、食事作り ◆毎ステージ交代での釜飯炊き (全員が3回経験)
(4)その他の事業 ①鳥栖市との共催事業 ②同窓会「やまももの会」 総会の開催 ③卒塾生のボランティア 参加	7月25～ 26日 8月9～10日	◆鳥栖市少年少女自然体験事業(14回目) ・鳥栖市の小学生29名を1泊2日で受入れ ・自然体験と共同生活の体験活動の場を提供 ・初日はリバートレッキング、竹細工づくりを体験、夜には萬歳寺で座禅を行い、我慢することの大切さを学ぶ ・翌日は自然塾周辺の地域探索(ウォークラリー)を体験 ◆「やまももの会」総会(第13回)の実施 ・総会は8月9日に男子、10日に女子開催 ・1期生～14期生、男女計99名が参加 ◆ボランティア参加 ・5月の連休明けより、1～14期生が日帰りで活動に参加 ・81名が参加(男子30名・女子51名)

実施計画	日程	実施内容																									
(5)会員の状況	12月末現在	<table border="1" data-bbox="660 215 1254 450"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">法人</th> <th colspan="2">個人</th> </tr> <tr> <th></th> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>54</td> <td>113</td> <td>18</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61</td> <td>124</td> <td>19</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>		法人		個人			社数	口数	人数	口数	正会員	54	113	18	23	賛助会員	7	11	1	2	計	61	124	19	25
	法人		個人																								
	社数	口数	人数	口数																							
正会員	54	113	18	23																							
賛助会員	7	11	1	2																							
計	61	124	19	25																							
(6)平成30年度 塾生募集活動	9月1日～ 11月30日	<p>① 鳥栖市報を通じての募集告知</p> <p>② 佐賀県、佐賀市、鳥栖市、福岡県、福岡市、北九州市の各教育委員会を通じて学校へ案内 佐賀県、佐賀市、鳥栖市 小・中:264校、 福岡県、福岡市、北九州市及び周辺市小・中:1,008校 ※ 応募パンフレット 10,900部 ポスター 1,280部配布</p> <p>③ 応募数90名(男子:43名、女子:47名) 福岡 48名、佐賀 41名、熊本 1名</p>																									

〈第1号議案〉平成29年度 事業報告および決算報告の件 ②

活動計算書

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
法人正会員受取会費	3,390,000	
個人正会員受取会費	69,000	
法人賛助会員受取会費	55,000	
個人賛助会員受取会費	3,000	3,517,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		49,891,200
3. その他収益		
受取利息	737	
雑収益	33,899	34,636
経常収益計		53,442,836
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	17,840,719	
賃金	6,005,704	
法定福利費	2,537,430	
人件費計	26,383,853	
(2) その他経費		
教材費	633,458	
燃料費	87,054	
図書資料費	116,328	
保健衛生費	95,289	
食材費	1,928,398	
旅費交通費	83,030	
通信運搬費	634,780	
消耗品費	719,854	
水道光熱費	1,166,063	
賃借料	2,219,603	
印刷製本費	1,700,946	
修繕費	27,508	
保険料	57,251	
教育研修費	5,000	
その他経費計	9,474,562	
事業費計		35,858,415
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	15,270,487	
人件費計	15,270,487	
(2) その他経費		
旅費交通費	152,940	
福利厚生費	1,982,588	
通信運搬費	945,065	
消耗品費	56,482	
水道光熱費	291,514	
賃借料	248,248	
会議費	54,662	
渉外費	113,712	
修繕費	191,322	
支払手数料	150,747	
保守費	1,417,441	
減価償却費	79,589	
雑費	110,410	
その他経費計	5,794,720	
管理費計		21,065,207
経常費計		56,923,622
当期正味財産増減額		△ 3,480,786
前期繰越正味財産額		9,979,742
次期繰越正味財産額		6,498,956

活動計算書の主な増減要因

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
法人正会員受取会費	3,390,000	3,390,000	0	
個人正会員受取会費	87,000	69,000	△ 18,000	
法人賛助会員受取会費	55,000	55,000	0	
個人賛助会員受取会費	3,000	3,000	0	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	50,200,000	49,891,200	△ 308,800	CCW株主優待口減
3. その他収益				
受取利息	2,000	737	△ 1,263	
雑収益	40,000	33,899	△ 6,101	
経常収益計	53,777,000	53,442,836	△ 334,164	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	17,595,000	17,840,719	245,719	
賃金	6,038,000	6,005,704	△ 32,296	
法定福利費	2,573,000	2,537,430	△ 35,570	
人件費計	26,206,000	26,383,853	177,853	
(2) その他経費				
教材費	603,000	633,458	30,458	
器具備品費	50,000	0	△ 50,000	
燃料費	93,000	87,054	△ 5,946	
図書資料費	120,000	116,328	△ 3,672	
保健衛生費	102,000	95,289	△ 6,711	
食材費	1,946,000	1,928,398	△ 17,602	
旅費交通費	60,000	83,030	23,030	
通信運搬費	780,000	634,780	△ 145,220	郵送費減
消耗品費	552,000	719,854	167,854	農業関係消耗品増
水道光熱費	1,135,000	1,166,063	31,063	
賃借料	2,275,000	2,219,603	△ 55,397	
印刷製本費	1,775,000	1,700,946	△ 74,054	
修繕費	60,000	27,508	△ 32,492	
保険料	51,000	57,251	6,251	
教育研修費	5,000	5,000	0	
その他経費計	9,607,000	9,474,562	△ 132,438	
事業費計	35,813,000	35,858,415	45,415	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	14,591,000	15,270,487	679,487	
人件費計	14,591,000	15,270,487	679,487	
(2) その他経費				
旅費交通費	370,000	152,940	△ 217,060	自然塾関東出張の延期
福利厚生費	2,131,000	1,982,588	△ 148,412	スタッフボロシヤ製作延期
通信運搬費	977,000	945,065	△ 31,935	
消耗品費	55,000	56,482	1,482	
水道光熱費	289,000	291,514	2,514	
賃借料	266,000	248,248	△ 17,752	
会議費	50,000	54,662	4,662	
渉外費	120,000	113,712	△ 6,288	
修繕費	165,000	191,322	26,322	
支払手数料	154,000	150,747	△ 3,253	
租税公課	5,000	0	△ 5,000	
保守費	1,271,000	1,417,441	146,441	PC ウィルス対策発生
減価償却費	0	79,589	79,589	
雑費	120,000	110,410	△ 9,590	
その他経費計	5,973,000	5,794,720	△ 178,280	
管理費計	20,564,000	21,065,207	501,207	
経常経費計	56,377,000	56,923,622	546,622	
当期正味財産増減額	△ 2,600,000	△ 3,480,786	△ 880,786	
前期繰越正味財産額	9,979,000	9,979,742	742	
次期繰越正味財産額	7,379,000	6,498,956	△ 880,044	

貸 借 対 照 表

平成29年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,666,368		
仮払金	33,900		
流動資産合計		3,700,268	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
器具備品	7,983		
有形固定資産計	7,983		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	12,600		
無形固定資産計	12,600		
(3)投資その他の資産			
周年記念積立預金	4,000,000		
投資その他の資産計	4,000,000		
固定資産合計		4,020,583	
資産合計			7,720,851
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	775,499		
預り金	446,396		
流動負債合計		1,221,895	
負債合計			1,221,895
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,979,742	
当期正味財産増減額		△ 3,480,786	
正味財産合計			6,498,956
負債及び正味財産合計			7,720,851

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日 平成23年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）を採用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

（2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	399,000	-	-	399,000	△ 391,017	7,983
無形固定資産						
ソフトウェア	378,000	-	-	378,000	△ 365,400	12,600
合 計	777,000	-	-	777,000	△ 756,417	20,583

財 産 目 録

平成29年12月31日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	205,030		
西日本シティ銀行 普通預金	3,424,449		
西日本シティ銀行 普通預金	1,859		
福岡銀行 普通預金	15,175		
佐賀銀行 普通預金	19,855		
仮払金	33,900		
流動資産合計		3,700,268	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	7,983		
有形固定資産合計	7,983		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	12,600		
無形固定資産合計	12,600		
(3) 投資その他の資産			
周年記念積立預金			
西日本シティ銀行 定期預金	4,000,000		
投資その他の資産合計	4,000,000		
固定資産合計		4,020,583	
資産合計			7,720,851
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
業務委託料 他	775,499		
預り金			
社会保険料	446,396		
流動負債合計		1,221,895	
負債合計			1,221,895
正味財産			6,498,956

監 査 報 告

平成 29 年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

平成 30 年 2 月 8 日

監 事 宮 木 博 吉



平成30年度 事業計画書(案)

1. 事業活動方針

以下の基本理念および指導方針に基づき、塾生諸君へのメッセージにある内容を具体的に実行していく。

(1) 基本理念

『生きる力を大地から学ぶ』

自然の助けを借りながら
共に考え、知恵を働かせ
自らの汗を流し
自らが成長する

(2) 指導方針

①生活面での心得や作業方法などの基本的事項ならびに安全作業や危険行為などの重要事項は指導するが、基本は体験を通して自らが気づき、学びにつなげる。

②「指示しすぎず」「命令しすぎず」「教えすぎず」「世話をやきすぎず」を基本姿勢として、自主性を引き出し、自らの行動につなげる。

(3) 塾生諸君へのメッセージ (市村自然塾創始者 浜田 広)

土に触れ 土を耕し
植物を育て 植物に囲まれ
自然の恵みを全身で受ける。
身体を動かし 汗をかく
勤労の気持ちよさ
ゆっくり深呼吸をする
よく噛んで 残さずいただく
友達と助け合う。

2. 事業の実施に関する事項

◆自然塾事業

(1) 事業内容

- ①農業体験活動 子供たち自らの手で行う農作物の栽培／共同農園・チーム農園・田んぼ
- ②自然体験活動 九千部登山、リポートレッキング、星座観察、ホテルの観察、日の出拝観など
- ③宿泊を伴う共同生活 清掃・食事・釜飯炊き・あとかたづけ・入浴など
- ④ボランティア活動 「鳥栖市民の森」や河内地区での清掃作業など

(2) 対象者

一般公募した小学4年生から中学2年生までの子供 男子30名・女子30名

●学年構成

	平成30年度(第16期)			前年比(H30-H29)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
中学2年	0	0	0	▲1	▲1	▲2
中学1年	1	0	1	0	▲1	▲1
小学6年	9	15	24	0	5	5
小学5年	15	10	25	2	▲3	▲1
小学4年	5	5	10	▲1	0	▲1
合計	30	30	60	0	0	0

●地域構成

	平成30年度(第16期)			前年比(H30-H29)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
福岡県	18	14	32	6	▲1	5
佐賀県	12	16	28	▲6	2	▲4
熊本県	0	0	0	0	▲1	▲1
合計	30	30	60	0	0	0

(3) 活動の期間

- | | |
|------------|--------------------------|
| ①入塾式(男女合同) | 平成30年 3月 4日(日) |
| ②男子活動期間 | 平成30年 3月16日(金)～11月25日(日) |
| ③女子活動期間 | 平成30年 3月23日(金)～12月 2日(日) |
| ④卒塾式(男女合同) | 平成30年12月 9日(日) |

- ・隔週金曜の夕刻から日曜の昼まで塾に宿泊し、上記活動を行う。
- ・2泊3日の活動を男女とも年間18回実施する。

(4) 活動の場所

佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
「市村自然塾 九州」塾舎および隣接借用農地5ヶ所他
塾舎周辺の施設(鳥栖市民の森・萬歳寺)・九千部山他

(5) 従事者予定人数

12人(常勤 10人、非常勤 2人)

(6) 主な活動

①1～3月

本年度の活動計画の立案とそれらの活動準備を行う。
農作物の栽培・自然体験・共同生活・環境ボランティア・地域との交流など

②3月～11月

- ・農業体験活動 共同農園・チーム農園・田んぼでの農作物の栽培活動
田畑の手入れ(くん炭、牛ふん堆肥、耕起)
作物の植付等による40種類程度の野菜の栽培
収穫作業、堆肥づくりなど
- ・自然体験活動 地域探索、ヤマメの放流、泥んこ運動会
ホテルの観察、リバートレッキング、九千部登山、天体観測、日の出拝観登山など
- ・共同生活 挨拶の仕方、食事作りや後片付け、共同場所清掃、収穫祭など
味噌づくり、座禅会と万歳寺清掃、肝だめし
塾野菜料理会、親子大会
- ・ボランティア活動 塾舎周辺の清掃活動(鳥栖市民の森、河川プール・大山祇神社周辺)

(7) その他の活動

①鳥栖市「少年少女自然体験事業」の開催(15回目の開催)

- ・鳥栖市教育委員会からの依頼を受け、市村自然塾 九州スタッフが運営協力。
- ・清流体験などの自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性と協調性を高めるという
鳥栖市教育委員会生涯学習課の活動支援。
- ・鳥栖市内の小学生男女30人での1泊2日の自然体験活動。
- ・開催時期は夏休みの平日(7月24日～25日)を予定。

②「やまもの会」総会 の開催 (14回目の開催)

- ・卒塾生(863名)の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことが目的。
- ・昨年度(15期生)の代表、副代表の選出
- ・開催時期は夏休みの平日(男子:8月8日、女子:8月9日)を予定。

◆その他

(1) 農地計画

①昨年度の振り返り

- ・昨年度は、夏場の雨の影響もあり、害虫の食害やウイルス細菌による病気が発生し、葉物野菜が被害を受けた。
- ・毎年、土壌診断を実施し、堆肥や石灰などを施すことで、土壌の改良を続けているものの、チーム農園については、平成15年の事業開始から同じ土地で多品種の野菜を栽培しているため、連作障害による発育不良が目立ってきた。
- ・そのため、チーム農園エリアの土地を休ませ、土壌を肥やすことが必要となった。

②今年度の活動

- ・チーム農園エリアは一年間休ませることとし、土壌の改善状態の経過を確認することとした。
- ・今年度のチーム農園については、共同農園に男女別のチーム農園エリアを確保し、活動を実施する。

(2) 広報活動の見直し

①昨年度の振り返り

- ・昨年度は、応募者の減少にも歯止めをかけ、また自然塾の活動を地域の皆さんに幅広く知っていただくために、広報活動の見直し・強化を図った。
- ・具体的にはホームページをスマートフォンに対応できる様式に変更し、応募書類をいつでも閲覧できるように見直した。
- ・また、自然塾の概要説明とポスターといった応募パンフについては、1ヵ月前倒しで8月に作成し、9月から募集活動を開始した。
- ・8月末には、会員企業への訪問と社員子女に対する案内依頼を行うとともに、福岡県・佐賀県の公立・私立の小中学校の学校長宛の案内も継続した。
- ・さらに8月末に実施した親子大会や保護者ボランティアなど、15期生の保護者に対して募集協力を依頼した。
- ・その結果、昨年度の応募者数は90名(前年比+12名)となり2年振りの増加に転じた。
- ・福岡県内ローカルテレビの取材依頼については実施を見送ったものの、塾生や保護者からの口こみで見学者も増え、応募者の増加につながったと考える。

②今年度の活動

- ・昨年度に引き続き、ホームページや応募パンフを活用し、企業訪問と学校訪問活動を強化する。
- ・OBを含めた保護者に協力を依頼し、口こみでの応募者拡大を進めていく。
- ・広報面では、新聞・雑誌・ローカルテレビの取材依頼を進めていく。

③参考…応募者数の推移

平成25年	115名	(男子 56名 女子 59名)	対前年比
平成26年	104名	(男子 54名 女子 50名)	▲11名
平成27年	96名	(男子 54名 女子 42名)	▲8名
平成28年	97名	(男子 46名 女子 51名)	+1名
平成29年	78名	(男子 34名 女子 44名)	▲19名
平成30年	90名	(男子 43名 女子 47名)	+12名

〈第2号議案〉平成30年度 事業計画および活動予算の件 ②

平成30年度 活動予算書(案)

平成30年1月1日から平成30年12月31日まで

(単位:円)

科 目	金額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費		
法人正会員受取会費	3,390,000	54社 113口×@ 30,000円
個人正会員受取会費	69,000	18名 23口×@ 3,000円
法人賛助会員受取会費	55,000	7社 11口×@ 5,000円
個人賛助会員受取会費	3,000	1名 2口×@ 1,500円
2. 受取寄付金		
受取寄付金	50,200,000	ココ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 34,700,000 ココ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株主優待口 10,000,000 ココ・コーラウエスト山陽基金 3,000,000 新技術開発財団 2,500,000
3. その他収益		
受取利息	1,000	預金利息
雑収益	30,000	中山間地農業補助 他
経常収益計	53,748,000	
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	17,336,000	職員給与(除く、塾頭・事務局長・事務スタッフ)
賃金	6,012,000	管理栄養士、調理士、看護師の人材派遣費用
法定福利費	2,569,000	社会保険料、労働保険料 等
人件費計	25,917,000	
(2) その他経費		
教材費	709,000	種・苗・堆肥、もの作り・体験活動 等の活動教材
燃料費	100,000	ガソリン代、灯油代
図書資料費	112,000	書籍・新聞購読料 等
保健衛生費	96,000	日用品、医薬品 等
食材費	1,946,000	活動時における食事の食材
旅費交通費	85,000	塾生送迎交通費、研修 等
通信運搬費	419,000	電話料金、郵送費、宅配費 等
消耗品費	512,000	事務用消耗品、厨房関係消耗品 等
水道光熱費	1,170,000	電気、ガス料金
賃借料	1,809,000	車両、寝具リース、農地、機械借用料 等
印刷製本費	1,997,000	コピー代、塾生募集パンフレット、卒塾アルバム 等
修繕費	75,000	活動用機器の修繕費
保険料	60,000	親子大会時の保険 等
教育研修費	25,000	外部研修参加費
その他経費計	9,115,000	
事業費計	35,032,000	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	14,640,000	職員給与(塾頭、事務局長、事務スタッフ)
人件費計	14,640,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	366,000	出張旅費、交通費
福利厚生費	2,427,000	単身職員借上寮、定期健康診断料 等
通信運搬費	67,000	電話、携帯電話、切手 等
消耗品費	226,000	事務用消耗品 等
水道光熱費	300,000	電気、ガス料金
賃借料	139,000	パソコンリース 等
会議費	50,000	会議時の飲食費用
渉外費	130,000	地域との懇親、来塾者との飲食費 等
修繕費	294,000	設備機器の修繕費用
支払手数料	123,000	振込手数料・残高証明 等
保守費	1,286,000	警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等
減価償却費	84,000	器具備品減価償却費
雑費	122,000	その他雑費
その他経費計	5,614,000	
管理費計	20,254,000	
経常費用計	55,286,000	
当期正味財産増減額	△ 1,538,000	
前期繰越正味財産額	6,498,000	
次期繰越正味財産額	4,960,000	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：円)

科 目	H29 実績	H30 予算(案)	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
法人正会員受取会費	3,390,000	3,390,000	0	
個人正会員受取会費	69,000	69,000	0	
法人賛助会員受取会費	55,000	55,000	0	
個人賛助会員受取会費	3,000	3,000	0	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	49,891,200	50,200,000	308,800	
3. その他収益				
受取利息	737	1,000	263	
雑収益	33,899	30,000	△ 3,899	
経常収益計	53,442,836	53,748,000	305,164	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	17,840,719	17,336,000	△ 504,719	
賃金	6,005,704	6,012,000	6,296	
法定福利費	2,537,430	2,569,000	31,570	
人件費計	26,383,853	25,917,000	△ 466,853	
(2) その他経費				
教材費	633,458	709,000	75,542	
燃料費	87,054	100,000	12,946	
図書資料費	116,328	112,000	△ 4,328	
保健衛生費	95,289	96,000	711	
食材費	1,928,398	1,946,000	17,602	
旅費交通費	83,030	85,000	1,970	
通信運搬費	634,780	419,000	△ 215,780	ポト代を印刷製本費に変更
消耗品費	719,854	512,000	△ 207,854	農業用消耗品減
水道光熱費	1,166,063	1,170,000	3,937	
賃借料	2,219,603	1,809,000	△ 410,603	車両2台 再リース変更に伴う減
印刷製本費	1,700,946	1,997,000	296,054	ポト代を通信運搬費から変更
修繕費	27,508	75,000	47,492	
保険料	57,251	60,000	2,749	
教育研修費	5,000	25,000	20,000	
その他経費計	9,474,562	9,115,000	△ 359,562	
事業費計	35,858,415	35,032,000	△ 826,415	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	15,270,487	14,640,000	△ 630,487	
人件費計	15,270,487	14,640,000	△ 630,487	
(2) その他経費				
旅費交通費	152,940	366,000	213,060	自然塾関東出張 2名
福利厚生費	1,982,588	2,427,000	444,412	単身者住宅補助増
通信運搬費	945,065	67,000	△ 878,065	H29 HP改修費用発生
消耗品費	56,482	226,000	169,518	老朽機器(乾燥機他)発生増
水道光熱費	291,514	300,000	8,486	
賃借料	248,248	139,000	△ 109,248	PC2台 再リース変更に伴う減
会議費	54,662	50,000	△ 4,662	
渉外費	113,712	130,000	16,288	
修繕費	191,322	294,000	102,678	和室他畳替え費用発生
支払手数料	150,747	123,000	△ 27,747	
保守費	1,417,441	1,286,000	△ 131,441	H29 浄化槽清掃費用発生
減価償却費	79,589	84,000	4,411	
雑費	110,410	122,000	11,590	
その他経費計	5,794,720	5,614,000	△ 180,720	
管理費計	21,065,207	20,254,000	△ 811,207	
経常経費計	56,923,622	55,286,000	△ 1,637,622	
当期正味財産増減額	△ 3,480,786	△ 1,538,000	1,942,786	
前期繰越正味財産額	9,979,742	6,498,000	△ 3,481,742	
次期繰越正味財産額	6,498,956	4,960,000	△ 1,538,956	

〈第3号議案〉 定款変更の件

平成28年6月1日に特定非営利活動促進法の一部が改正され、平成29年4月1日に施行されたことに伴い、市村自然塾九州の定款を一部変更する必要があります。
また、平成24年4月1日施行された法改正に伴い、定款変更しなければならない条項に関して、佐賀県および鳥栖市から所要の変更をする旨の要請がありました。

つきましては、平成30年3月開催の理事会・総会で定款を変更する旨の議案を付議するものです。

1. 変更の主旨

- ・特定非営利活動促進法(以下、NPO法という)が改正され、平成29年4月1日施行されたことに伴い、所要の変更手続きを行うもの。
- ・また、前回のNPO法改正(平成24年4月1日施行)に伴い、計算書類の名称変更等、所要の変更を行うもの。

2. 主な変更内容

- (1) 貸借対照表の公告方法(平成29年4月1日法改正によるもの)
現在の定款では、公告の方法が「官報に掲載」のみとなっているため、貸借対照表の公告については、「ホームページを利用して行う」旨を追加・変更する。
- (2) 収支計算書から活動計算書への変更等(平成24年4月1日法改正によるもの)
事業報告書に添付する資料は、「収支計算書」ではなく「活動計算書」に変更する。
定款を変更する場合には、所轄庁の認証を得ることなど、手続きに関する文言を変更する。
その他、必要となる定款の文言を変更する。
- (3) 定款変更(案)
別表の 市村自然塾九州 定款改正(案)をご参照ください。
なお、本定款改正(案)については平成29年4月に鳥栖市協働推進課の確認を済ませております。

3. 定款変更の時期

- ・定款変更は、総会の議決事項であるため、本年3月開催の通常総会に付議し、決議後、鳥栖市に対して「定款変更認証申請」を行います。
- ・なお、定款変更後の登記の必要はありません。

〈その他〉

①理事および監事の役職等の変更について

平成30年度
理事および監事

理事

	氏名	備考
代表理事	柴田 暢雄	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	川原 唯司	リコージャパン株式会社 執行役員 販売事業本部 中国・九州地区担当
理事	稲川 晶子	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 CSV推進部 担当部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室長
理事	門谷 聡一	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長

監事

	氏名	備考
監事	宮木 博吉	CQベンチャーズ株式会社 監査役
監事	江副 友祐	リコージャパン株式会社 福岡支社 事業管理グループ リーダー

②名誉会員の会員資格の喪失について

当法人の名誉会員であり、元コカ・コーラウエストジャパン株式会社 代表取締役会長であった久保 長 氏が1月30日午後6時30分頃、享年86才をもってご逝去されました。つきましては、定款第9条第2号 会員資格の喪失 に準じて、同氏の名誉会員の資格は喪失するものといたします。

以上